

注：淀川部会検討会のみ使用予定

建設中ダムの見直し前（現行基本計画及び事業実施方針）計画諸元一覧表

ダムの名前 (事業名) 建設計画期間	建設費(億円) 開発水量 (万 ³ /日)	費用振り分け (負担割合%、億円)	ダムサイト 集水面積(km ²)	計画高水 流量 (m ³ /s)	比流量 (m ³ /s/km ²)	有効貯水量(万 ³) 治水容量(万 ³) 利水容量(万 ³)	水利権者 新規水源開発(万 ³ /日) 負担額(億円)
丹生ダム (公団事業) 湯水対策ダム事業 S55～H22	建設費 1,100億円 (S63P) 開発水量 27.9万 ³ /日	治水 (54.8%、602.8) 国費負担率 (70%、422.0) 地方負担率 (30%、180.8) 利水 (45.2%、497.2)	93.1	910	9.8	有効貯水量 1億4,300万 ³ 治水 3,300万 ³ 非洪水期利水 1億3,300万 ³ 洪水期利水 1億1,000万 ³	大阪府 (21.375、約381) 京都府 (1.728、約31) 阪神水道企業団 (4.804、約85) 合計 27.907、約497
大戸川ダム (直轄事業) S53～H13	建設費 740億円 (S63P) 開発水量 4.4万 ³ /日	治水 (86.6%、640.9) 国費負担率 (70%、448.6) 地方負担率 (30%、192.3) 利水 (12.8%、94.7) 発電 (0.6%、4.4)	153.5	1,250	8.1	有効貯水量 2,760万 ³ 治水 2,190万 ³ 利水 570万 ³	大阪府 (3.456、約74) 京都府 (0.864、約19) 大津市 (0.100、約2) 合計 4.420、約95
川上ダム (公団事業) S56～H16	建設費 850億円 (H3P) 開発水量 9.6万 ³ /日	治水 (70.6%、600.1) 国費負担率 (70%、420.1) 地方負担率 (30%、180.0) 利水 (29.1%、247.4) 発電 (0.3%、2.5)	54.7	1,100	20.1	有効貯水量 3,120万 ³ 治水 1,450万 ³ 非洪水期利水 1,830万 ³ 洪水期利水 1,670万 ³	三重県 (5.184、約133) 奈良県 (2.592、約67) 西宮市 (1.823、約47) 合計 9.599、約247
余野川ダム (直轄事業) 猪名川総合開発 S55～H17	建設費 500億円 (S57P) 開発水量 10.0万 ³ /日	治水 (69.5%、347.5) 国費負担率 (70%、243.3) 地方負担率 (30%、104.2) 利水 (30.5%、152.5)	27.8 (直接 5.0) (間接 22.8)	280	10.1	有効貯水量 1,700万 ³ 治水 1,120万 ³ 非洪水期利水 680万 ³ 洪水期利水 580万 ³	阪神水道企業団 (9.000、約138) 箕面市 (1.000、約15) 合計 10.000、約153
天ヶ瀬ダム再開発 (直轄事業) H1～H13	建設費 330億円 (H6P) 開発水量 5.2万 ³ /日	治水 (89.1%、294.0) 国費負担率 (70%、205.8) 地方負担率 (30%、88.2) 利水 (8.8%、29.0) 発電 (2.1%、7.0)	4,200 (琵琶湖 3,848) (天ヶ瀬 352)	2,300		有効貯水量 2,000万 ³ 治水 2,000万 ³ 非洪水期水道 214万 ³ 洪水期利水道 214万 ³ 非洪水期発電 1,489万 ³ 洪水期発電 521万 ³	京都府 (5.184、約29)

丹生ダムの治水負担については、琵琶湖総合開発特別措置法によりH8までは国費負担率75%（地方負担率25%）が適用されていた。

本表中の国・地方の負担額については、便宜上国費負担率70%（地方負担率30%）で算出したものである。

基本計画告示日：（大戸川ダム H3.3.14）（余野川ダム H13.9.27(変更)）（天ヶ瀬ダム再開発 H7.4.17）

事業実施方針告示日：（川上ダム H11.7.8(変更)）（丹生ダム(H13.9.27)）